

今回は、須坂町の人物紹介・魅力紹介②「東山魁夷画伯詩碑 馬車よ ゆっくり走れ！」をお伝えします。

## ■須坂町の人物紹介

須坂町の製糸業は明治 18 年には県下 2 位の生産高（器械製糸）となり、製糸結社の東行社や俊明社はどちらも競うように順調に業績を伸ばしていきました。須坂町は明治からの製糸業の発展をもとに、水道や電気、電話、鉄道といった都市基盤の整備が他自治体に先がけて行われました。今回の町並みだよりでは、須坂の発展に寄与した代表的な人物 2 名を紹介いたします。

おたぎり たつのすけ

### ■小田切 辰之助（天保 10 年(1839)～明治 37 年(1904)）

小田切辰之助は、大笹街道と谷街道が交差する町の中心地に居を構え、麴、酒造、油、蚕糸、呉服商などを営み、幕末まで町年寄りや須坂藩の御用達を勤めた豪商小田切家（西糶屋）に生まれました。

蚕種の品質向上のため蚕種組合をつくり、明治 6 年（1873）には養蚕・蚕種の指導や取締をする蚕種大総代に任命されたほか、開業したばかりの富岡製糸場を視察し、須坂でいち早く水車による器械製糸を共同で試験操業、明治 8 年（1875）の日本初の製糸結社『東行社』の創設の際には中心的な役割を担うなど、須坂の製糸業を牽引しました。明治 17 年（1884）には新たな製糸結社『俊明社』を創設し、また銀行の創設や水道の敷設に協力するなど町の発展にも寄与し、これらの功績により、明治 24 年（1891）に緑綬褒章を受章しています。



◆小田切辰之助



◆旧小田切家住宅（春木町）

現在公開している旧小田切家住宅は、主屋・長屋門・店・土蔵等が一体として残っており、製糸業が盛んだった当時を偲ぶ代表的な建物です。平成 30 年（2018）9月に長野県宝に指定されました。昭和 30 年代までは敷地が現在の西側（薬局）まで広がっており、

駐車場脇のぼたもち石積みがその名残をとどめています。

こし じゅさぶろう

### ■越 寿三郎（元治 1 年(1864)～昭和 7 年(1932)）

明治後半から大正期に、須坂の町は製糸業全盛期を迎えますが、その原動力のひとつとして越寿三郎による『山丸組』の創設があります。



◆越 寿三郎



豪商小田切新蔵（東翹屋）の三男として生まれ、越家に養子に入り、23歳で山丸製糸場を創設し、俊明社に加入します。生産量を伸ばし、31歳の若さで俊明社の社長に就任し、40代後半には、同族によって組織された営業のための組合『山丸組』を創設しました。



◆旧越家住宅（春木町）

山丸組は、須坂の製糸業の中で最大規模をほこり、太子町や馬場町で工場を操業したほか、愛知県に安城工場、埼玉県に大宮工場を操業しました。さいたま市大宮区に『山丸公園』としてその名が今に残っています。また、寿三郎の経営手腕の下、製糸業に関係する工程の全ての工場を経営し、さらには工女養成、未就学児童の教育、商業教育（須坂商業高校の設立）までも携わっています。このほか、米子地区に発電所を設けた『信濃電気株式会社』（「中部電力」の前身）や新潟県に『信越窒素肥料株式会社』（「信越化学工業」の前身）を創設するなど、寿三郎が

関わった事業をみると、大規模、多角経営の“総合商事会社”の様相を見て取れます。また、『須坂カッタカタ祭り』で流れる須坂小唄は山丸組の工場歌としてつくられたものです。

春木町にある旧越家住宅は、寿三郎が息子の婚礼に際して購入したもので、須坂でいち早く電話を架設し、番号が1番であったことから山丸壺番館（やままるいちばんかん）とも呼ばれています。客室敷は3部屋36畳の広さで、主屋の背後には、重厚な切妻造りの土蔵が2棟建ち、繁栄の名残をとどめており、平成15年9月に国の登録有形文化財になっています。また、当時渋沢栄一とも交わりがあったため、旧越家住宅には、渋沢栄一の書が収蔵されており、レプリカを常時展示しています。

## ■魅力紹介②「東山魁夷画伯詩碑 馬車よ ゆっくり走れ！」

町並みの会会員はじめ多くの市民の協力のもと、信州須坂町並みの会10周年記念として、平成10年に建立された碑文『馬車よゆっくり走れ！』は、画伯がドイツを旅された際に出会った、メルンの町に中世以来、語り継がれている寓話にちなみます。

【道化者ティル・オイレンシュピーゲルの前に馬車を飛ばし男がやってきて「隣の町まで何時間かかるかね」と訊ねた。ティルが答えて「そうさね、ゆっくり行けば四、五時間。急いでいけば一日かな」と。男は馬に一層強い鞭をくれて走り去った。案の定、町はずれで馬車が壊れ、隣町に着いたのは深夜であった。】

建立に寄せて画伯は、「この須坂市には、他の處では失ってしまったものが、数多くまだ残っていると聞いております。一つの特色ある街として人間のぬくもりの在る家並みを大切に保存して戴ければ、たいへんに嬉しいと思います。

目新しいものを創る努力を、古くて伝統あるものを保存する努力に置き換えて、市民の皆様方の気持ちが一つになって、盛り上げて行って戴ければと願っている次第です。」（詩碑建立序幕式栞より）とエールを贈っています。



◆東山魁夷画伯詩碑（横町交差点）

### ▼町並みの古写真を探しています▼



明治から昭和40年頃までの歴史的な町並み（大字須坂辺り）を写した古い写真を集めています。今後町並みを整えていくための貴重な資料です。ご自宅にお持ちの方は是非ご連絡ください。なお、写真は複写した後にご返却します。

お盆も終わり、今年も残り4ヶ月となりました。年が明け、令和になったと思ったら、あっという間ですね。地区や建物の特徴を明確にするために行っている調査の報告書を今年度中に発行する予定です。地域の皆様にご協力をいただいた調査なので、良い報告書ができるように頑張ります。

編集・発行・問合せ  
須坂市社会共創部生涯学習スポーツ課  
☎026-248-9027  
まちづくり推進部まちづくり課  
☎026-248-9007